



外交官のオンライン研修 原爆ドーム撮影 広島 ユニタール

2022.1.18 11:51

外交官の養成などを行っているユニタール（国連訓練調査研究所）が、核軍縮の研修用に原爆ドームや原爆慰霊碑の映像コンテンツを制作しています。

18日朝は、スタッフが原爆ドームの中に入り、360度カメラで撮影をしていました。

中四国唯一の国連機関として広島市に事務所を置くユニタールの核軍縮などに関する研修は、コロナ禍のために去年からオンラインで行われています。ことしの対象は核軍縮の国際会議などに参加するアジア19か国の外交や防衛関係の職員です。

ユニタールは、職員たちに被爆の実相を知ってもらおうと、原爆ドームのほか、あわせて15か所の慰霊碑などを紹介する映像コンテンツの制作を続けています。

「ヒロシマの思いを知ってもらって、実感をもって交渉の現場にあたってほしい。」（ユニタール広島事務所 馬場裕子さん）

研修は来月から実施され、映像の一部は4月にも一般公開される予定です。